

5月は自転車マナーアップ月間

# 自転車の交通ルールを確認

昨年、市内で起こった人身事故のうち、約2割は自転車に関係しています。事故に遭わない、事故を起こさないためにルールを再確認しましょう。☎交通安全課☎225-2760



## 自転車は車道の左側が原則、歩道は例外

道路交通法では、自転車は軽車両です。車道と歩道の区別がある所は原則、車道の左側を通行しましょう。



## ルールを守って安全に

飲酒運転・二人乗り・並進・スマートフォンを操作しながらなどの運転は禁止されています。決まりを守って安全に乗りましょう。

## 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道を通行する場合は車道寄りの部分を徐行、歩行者の通行を妨げるような場合は一時停止しましょう。



歩行者の通行を妨げるときは降りるなどの安全対策を

自転車も標識に従い一時停止を

## 全年代を対象を拡大

# 自転車用ヘルメットの購入費を助成



自転車で転んだときに頭部の保護や、ダメージを軽減するヘルメットの購入費用を助成します。

- 【対象】 購入日に市内に住所がある方
- 【助成額】 1人につきヘルメット1個（上限1000円）  
※支払額が1000円未満の場合は購入額
- 【内容】 市内にある19の協力店舗で、ヘルメットを購入時に申請書を提出すると会計時に割引

☎交通安全課や公民館などにある申請書と現住所が分かる免許証や学生証を持ち、2023年3月31日までに協力店舗へ。



詳しくはこちら

## 参加者には購入費の助成有り

# 幼児2人同乗用自転車の乗り方講習会

幼児2人を乗せる専用自転車の乗り方講習会を開催します。参加者には自転車購入費を一部助成します。

- 【対象】 市内在住で小学校就学前の幼児が2人以上いる保護者で自転車を購入予定の方20人
- 【日時】 6月26日 10時～11時30分
- 【場所】 厚木シティプラザ
- 【助成額】 自転車購入費の半額（上限1万6000円）

☎電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号を書き、6月20日までに交通安全課☎295-2421・☎3400@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。詳細は市HPに掲載。

## 家族で確認しよう

# 交通安全ルールの動画を公開

道路の渡り方や信号の見方などをまとめた子ども向けの動画を公開しました。家庭で交通安全について学んでみませんか。



詳しくはこちら

☎交通安全課☎225-2760

# 免許証を返納し安心した気持ちに

森屋 千恵子さん (87・栄町)



地域包括支援センターの職員と話す森屋さん

5年前に免許証を返納しました。子どもから、「事故を起こす前に返納できて良かった」と前向きな言葉を掛けてもらえ、間違えてなかったと感じています。しばらくは車のない生活に不便を感じることがありましたが、今はバスや電車を使う生活に慣れてきました。高齢者の交通事故のニュースなどを見ると、返納して良かった

と改めて思います。

今は、地域包括支援センターの方など、相談できる方も身近にいて、ささいなことも相談できます。私自身は免許証の返納をきっぱり決断できましたが、なかなか踏み切れない方は身近な人に相談してみるのも一つの手段だと思います。

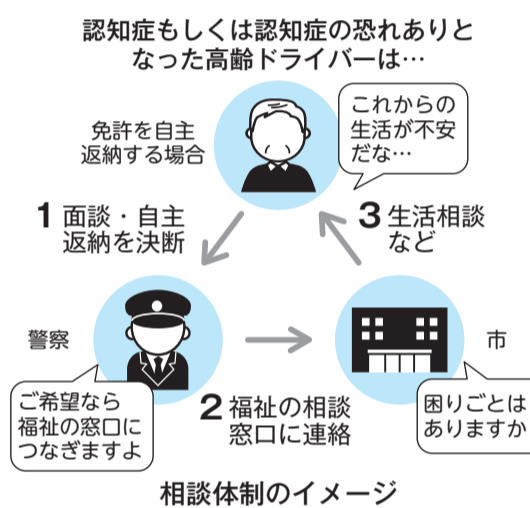
# 認知症などで運転免許証を返納した方の相談体制を整備

市では、認知症などで運転免許を返納した方の相談体制を整えるため、県警察と協定を締結しました。

☎地域包括ケア推進課☎225-2047



身近な相談窓口の地域包括支援センターに関する情報はこちら

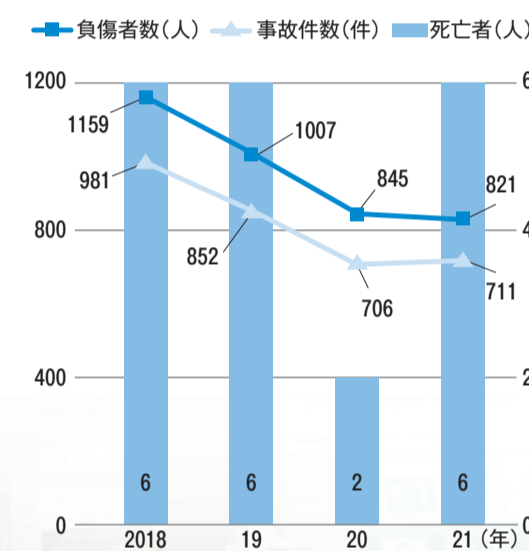


相談体制のイメージ

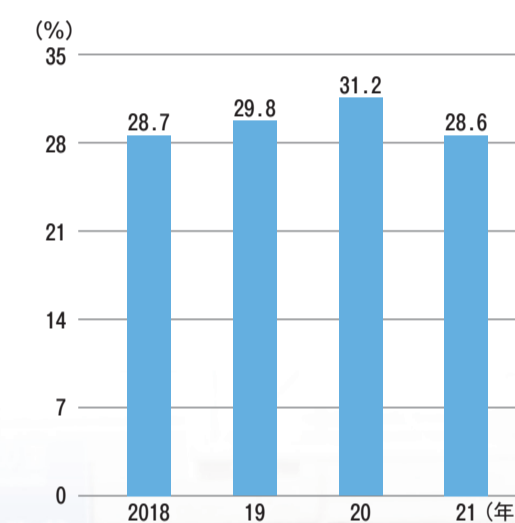
# 安心して暮らせるまちに 交通死亡事故 ゼロを目指して

自転車や車は、私たちの生活に欠かせない移動手段です。便利さの一方で、運転中の不注意やルール違反は大きな事故につながります。特集では、事故件数の多い高齢者や自転車、重大事故につながりやすい子どもの安全対策などを紹介します。☎交通安全課☎225-2760

## 市内の交通事故件数



## 高齢者が関連する市内の交通事故の割合



# 子を持つ親としてできることを

依智北地区 交通安全母の会 会長 川野 由美子さん(山際)

会の活動は、子どもの登下校の見守りや交通安全運動のキャンペーンへの参加などです。会に加入したのは、子どもが小学4年生になった時。当時は母の会の存在自体、よく知りませんでした。活動しているうちに、地域の皆さんが子どもたちのために熱心な活動をしていてと知り、自分もできることをやろうと思うようになりました。今はとにかく会を知ってもらうことが大事と考え、会報誌を発行。今後は、SNSを使った周知も考えています。

交通事故のない安全なまちにしたいという思いは、子どもを持つ保護者共通の思いだと思います。1件でも事故を減らすためには、みんなができることに少しずつ取り組めると良いのではないかと思います。私は家でも、子どもとドライブレコーダーの事故映像や運転手の視点が見られる映像を動画配信サイトで見て、事故の恐ろしさや危ない箇所などを教えています。



交通安全を呼び掛ける川野さん

## 会員募集 交通安全母の会

子どもから高齢者まで、幅広い世代の方に交通ルールやマナーを守る大切さを一緒に伝えませんか。

【対象】 交通安全に関心があり、地域での活動に意欲がある方  
【活動内容】 登下校時の見守り活動や敬老会での交通安全の呼び掛けなど

☎交通安全課☎225-2760

## 少しの心掛けと対策が事故を減らす

ここ数年、市内の事故件数は減少傾向ですが、昨年は6人が交通事故で亡くなっています。

事故を起こさないように気を付けることは大切ですが、事故に遭わないよう、心掛けることも必要です。夜は明るい色の服を着て反射材を身につける、小さな子どもがいる家庭では子どもと手をつないで歩くなど、それぞれの立場で事故を減らす取り組みができます。

5月は連休で外出の機会が増え、普段通らない道を車や自転車で走ることがあると思います。慣れた自宅の周辺でも車通りが多くなることもあるので、いつも以上に気を付けましょう。



厚木警察署 交通第一課長 雨宮 忠行さん